

## 西表島森林生態系保護地域の課題等

### 森林生態系保護地域としての適切な管理の推進

課題	主な関連エリア											対応の方向性（案）	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪		
「登山道」とその管理主体が不明	○	○	○	○	○						○	○	「登山道」の定義、管理主体の明確化
保全利用地区における「森林環境教育や森林レクリエーションに供するルート」とその状況が不明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「ルート」の定義とその状況把握
横断道では、一部に焼き火跡が見られるほか、キャンプが行われている箇所がある。（第1山小屋跡地等）			○										(キャンプ可能地としての適切な管理)
ガイドは、自らのツアーを差別化するため混雑しない場所、他人が行かない場所を案内する。（利用域の拡大）		○	○	○	○		○	○		○	○		禁止事項等厳守の周知徹底
昆虫採集を目的とする入林者が多い。（大富林道、展示林周辺等）	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	△		盗掘等防止対策
過去に植物の盗掘があったとされる（古見岳周辺）ほか、今後も盗掘が懸念される。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	定められた「登山道」、「ルート」以外の林内への立ち入り抑止対策
入山届等の提出を要請しているが、単独行動等による遭難事故が発生しているほか今後も発生が懸念される。	△	△	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	巡視等の強化
													入山届等提出の周知徹底

### 貴重な森林生態系の価値を損なわない適正な利用の推進

課題	主な関連エリア											対応の方向性（案）	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪		
登山道等の踏み荒らしによる植生の後退と土壌流出・硬化・根茎の損傷が発生		○	○	○			○				○	○	森林利用のマナー・ルール等の設定・見直し
利用域の拡大により、森林生態系への影響が拡大が懸念。中小河川でも各種問題が発生することが懸念される。		○	○	○			○	○		○	○		ガイドの認定制度とガイド養成事業の促進
し尿による悪臭が発生。		○	○	○			○			○	○		携帯トイレの利用等促進
協会や組合等による自主規制等の限界。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	利用コントロールの検討

### 的確な現状把握とモニタリング

課題	主な関連エリア											対応の方向性（案）	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪		
最新の詳細な利用状況が不明	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	最新の利用動向把握
利用の集中等による森林生態系への影響把握が不足		○	○	○	○		○	○		○	○		効果的なモニタリング
対策等の効果の的確な確認体制が不明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各機関等との情報共有
													職員による巡視と入林者（ガイド等）による森林状況等の情報提供

### 利用者等への情報の提供・普及啓発

課題	主な関連エリア											対応の方向性（案）	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪		
森林生態系保護地域の設定（拡充）を知らない観光客・地元住民が多い。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	説明板の設置、チラシの配布、ポスター掲示、町広報誌等への掲載等、西表島内での普及啓発
森林生態系保護地域に関する制度面の説明が少なく、禁止事項等が不明。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	連絡船、インターネット等、西表島外での普及啓発（チラシ、ポスター、放送等）
サンダル履き等の軽装で入林する者があり、事故の発生が懸念される。		○	○	○	○		○	○		○	○		各機関との連携、情報の共有等。